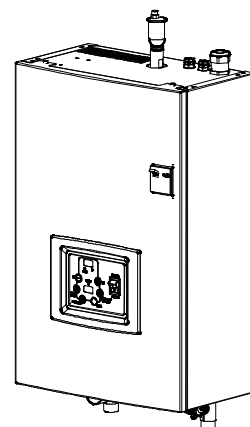
Dimplex®

温水暖房用電気ボイラー「ヒートライナー」

取扱説明書（保証書付）

型式	AR6241-03	AR6241-04	AR6241-05	AR6241-06
	AR6241-07	AR6241-08	AR6241-09	AR6241-10

ご使用まえに

- この度は、アウアーAR6241 シリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、ご使用のまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- この取扱説明書には保証書がついておりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意……2
本機の特長……4
各部の名称……5
仕様……6
使用前の確認……7
操作パネル……8
操作方法（運転開始、通常運転）……9
操作方法（温水温度設定、セーブ低減）……10
操作方法（通常運転⇔セーブ運転切替）……11
操作方法（運転⇔待機（OFF））……12
操作方法（凍結防止運転）……12
操作方法（応急運転）……12
リモコン（オプション）がある場合……13
リモコン操作方法……14
タイマー（オプション）がある場合……15
長期間使用しない場合……16
点検／お手入れ……16
故障かな？と思ったら……17
部品の交換について……18
保証／修理に関して……18
保 証 書……19
お客様ご相談窓口のご案内……20

安全上のご注意

ご使用の前に、必ず「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

● 表示内容を無視した時に生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。

⚠ 警告：取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注意：取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。

禁止図記号 ･･･････製品の取扱において、その行為を禁止する図記号。

指示図記号.･････････製品の取扱において、指示に基づく行為を強制する図記号。

⚠ 警告

本体の上に可燃物を置いたり、可燃物で覆わないこと。
火災や故障のおそれがあります。

機器の上に乗らない。ぶら下がらないこと。
故障や事故の原因になります。

塗料、シンナー等の物を近づけないこと。
火災のおそれがあります。

本体と壁との間に物を入れないこと。
火災のおそれがあります。

水をかけたりしないこと。
絶縁劣化による漏電・感電・火災のおそれがあります。

内部に高電圧がかかるため、配線部の収まっている本体内部を開けないこと。
高電圧部に接触すると感電のおそれがあります。

本体の分解、改造を行わないこと。衝撃を与えないこと。
感電・火災のおそれがあります。修理が必要なときは、販売店にご相談ください。

異物を入れないこと。
感電・火災のおそれがあります。

本体表面に結露が生じる場所、水漏れや湯煙がある場所に設置しないこと。
絶縁劣化による漏電・感電・火災のおそれがあります。

据付工事や移動、電気工事は必ず販売店及び電気工事店に依頼すること。
お客様ご自身で据え付けをされ、不備があると火災・感電のおそれがあります。

据付工事部品は、必ず付属品及び指定の部品を使用すること。
機器の転倒や火災・感電のおそれがあります。

アース、漏電遮断装置の工事が行われていること。
そのまま使用すると感電のおそれがあります。

⚠注意

運転中や運転直後は、本体や配管部には触れないこと。
暖房配管接続口まわりは高温になるので、注意してください。
やけどのおそれがあります。

幼児や体の不自由な方は、付き添えなしのご使用は避けること。
やけどのおそれがあります。

温水暖房以外の目的で使用しないこと。
感電・火災・やけどのおそれがあります。

電源コード等に無理な力を加えたり、物をのせない。
電源コードが傷つき、感電・火災のおそれがあります。

本体表面の清掃は、ベンジン・シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しないこと。
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

長期間ご使用にならないときは、本体の漏電保護付電源ブレーカー及び配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーを「OFF」にすること。
絶縁劣化による漏電・感電・火災の原因となることがあります。

本体の据付・配線は、施工専門業者及び有資格の電気工事業者が行なうこと。
感電・ケガのおそれがあります。

異常が感じられるときは、本体の漏電保護付電源ブレーカー及び配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーを「OFF」にすること。
火災のおそれがあります。

電源コードが破損した場合の修理は、必ず専門業者に依頼すること。
感電・ケガのおそれがあります。

本体表面の清掃は、本体の漏電保護付電源ブレーカー及び配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーを「OFF」にし、本体表面を冷ましてから行うこと。
感電・やけどのおそれがあります。

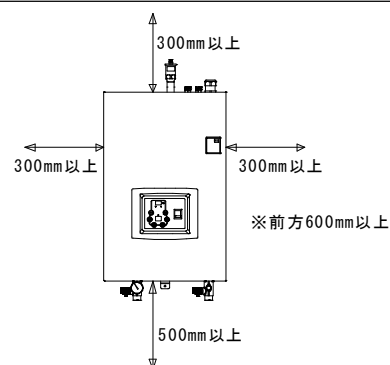
本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼すること。
感電・ケガのおそれがあります。

⚠ 循環液（不凍液、補充液）は、幼児の手の届かない所に保管すること。
万一、飲んでしまった場合はすぐに吐かせて、医師の診断を受けてください。

⚠ 放熱器等における低温火傷に注意すること。
パネルヒーターや床暖房を使用する場合、長時間同じ場所に皮膚が触れないようにしてください。比較的低い温度（40～６０℃）でも、低温火傷の恐れがあります。特に、お年寄りや赤ちゃんはご注意ください。また、長時間よりかかったりしないでください。

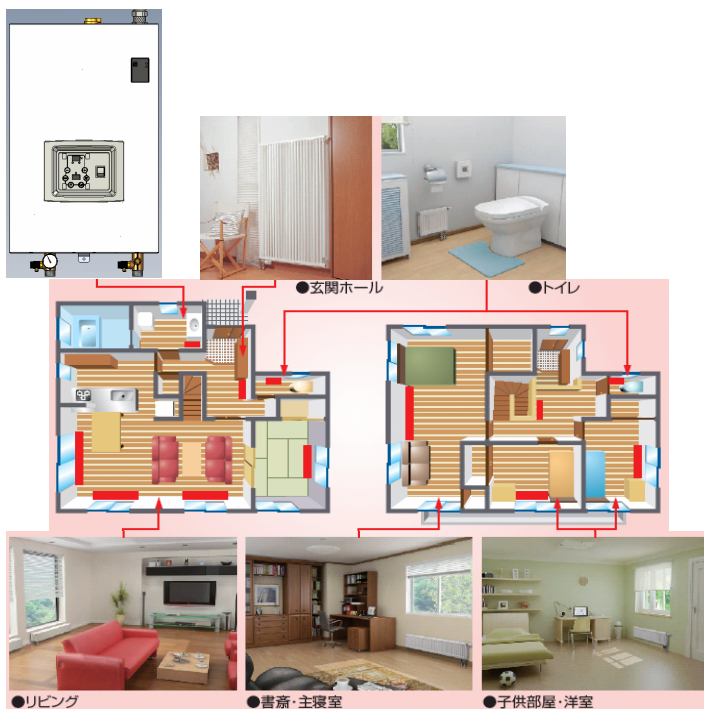
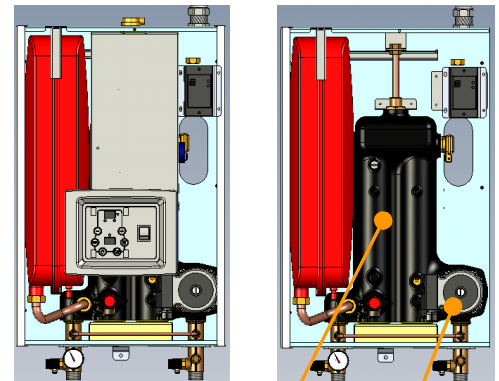
⚠離隔距離に関しての注意

本体から周囲物に対して、メンテナンスに必要な以下の離隔距離を確保すること。

・上方向・・・・・・・・・・・300mm 以上
・下方向・・・・・・・・・・・500mm 以上
・左右方向・・・・・・・・・・300mm 以上
・前方方向・・・・・・・・・・600mm 以上

本機の特長

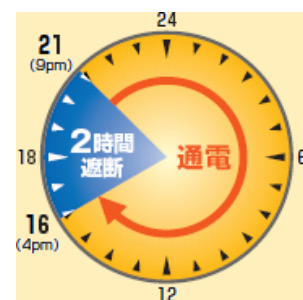
温水暖房用電気ボイラー「ヒートライナーAR6241 シリーズ」は、融雪電力（200V）を使用した温水セントラルヒーティングの熱源です。電気ボイラーによって暖められた温水（不凍液）は、内蔵循環ポンプにて各部屋に設置されている放熱器（ラジエーターパネル、コンベクターパネル、ファンコンベクター）や床暖房パネルなどを循環し、その放熱によりムラなくお部屋全体を暖めます。

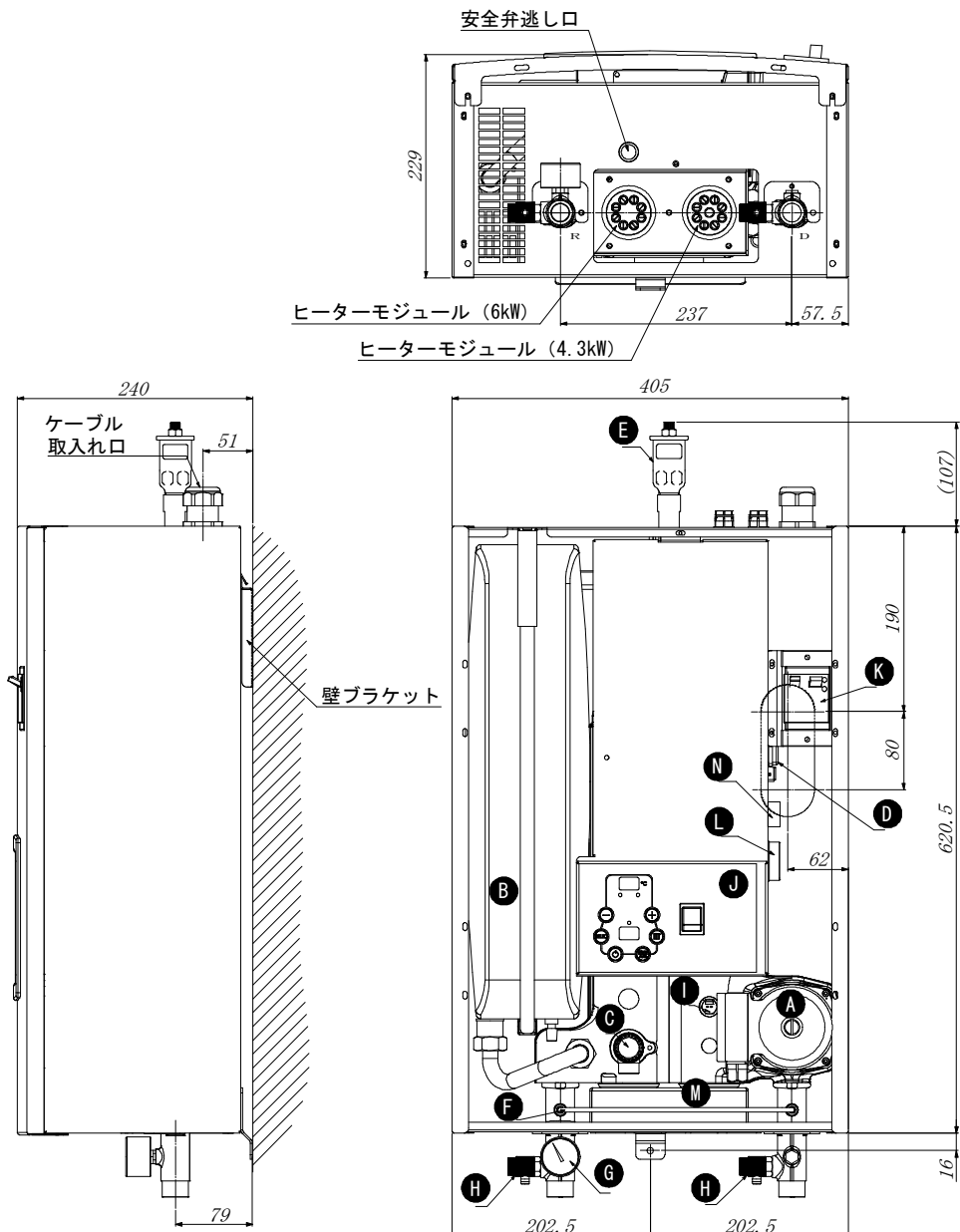
また、火を使用しないため排気による空気の汚れがなく、クリーンであることが特長です。

■システム構成例

■ヒートライナー内観のようす

※）詳細は次頁「各部の名称」を参照。

■電力料金システムについて

電気ボイラーは、ホットタイム 22L を使用します。
午後４時から午後９時までの間の２時間を遮断し、その他の 22 時間は通電されています。遮断される２時間については、15 分毎に通電と遮断を繰り返す方法が一般的に使用されます。

※ホットタイム 22L についての詳細は、電力会社様までお問い合わせください。

各部の名称

項目	説明	
A	循環ポンプ	UPS15-50
B	膨張タンク	10L、充填圧 0.65Bar
C	安全弁	2.5Bar
D	水電極	システム水検知用センサー
E	自動エア抜き弁	エア抜き弁
F	バイパス	内径 4mm、銅パイプ
G	圧力計	最大圧力表示 2.5Bar
H	ドレーンバルブ	
I	温水温度センサー	サーミスタ
J	表示パネル	温度設定、操作パネル
K	漏電保護付電源ブレーカー	60A/30mA タイプ（トリップ機能付き） ※）10kW 時は 75A タイプ
L	手動サーモ	応急運転時の温水温度サーモスタット
M	ヒーターエレメント	6kw×1Unit、4.3kW×1Unit のヒーターエレメント
N	過熱防止装置	作動温度 110℃

仕様

		AR6241 シリーズ							
型番		AR6241 -03	AR6241 -04	AR6241 -05	AR6241 -06	AR6241 -07	AR6241 -08	AR6241 -09	AR6241 -10
定格消費電力（kW）		3.3kW	4.3kW	5.3kW	6.3kW	7.3kW	8.3kW	9.3kW	10.3kW
定格消費電流（A）		16.5A	21.5A	26.5A	31.5A	36.5A	41.5A	46.5A	51.5A
ポンプ/制御回路（W）		約 78W（50Hz）/約 93W（60Hz）							
暖房出力（kW／kcal/h）		3.3/2838	4.3/3698	5.3/4558	6.3/5418	7.3/6278	8.3/7138	9.3/7998	10.3/8858
屋内配線最小 電線径（銅線）	VV	2.6mm （5.5mm^2）	2.6mm （5.5mm^2）	3.2mm （8 mm^2）	14 mm^2	14 mm^2	14 mm^2	―――	―――
	CV	5.5 mm^2	5.5 mm^2	5.5 mm^2	8 mm^2	8 mm^2	8 mm^2	14 mm^2	14 mm^2
配線用遮断機の定格電流		30A	30A	40A	50A	50A	60A	75A	75A
電源		単相 200V　50/60Hz							
外形寸法（H×W×D）		621×405×240　mm							
缶水量		2.5L							
重量（満水時）		32kg（約 34.5kg）							
循環ポンプ		グルンドフォス UPS15-50							
運転方式	通常運転	温度設定方式（設定温度制御範囲 10～80℃（1℃刻み））							
	応急運転	初期設定温度 65℃（固定）							
最大ステップ数		2	3	3	4	4	5	5	6
膨張タンク		10L、充填圧 0.65Bar（0.065MPa）							
配管	往き口	R3/4 オス							
	戻り口	R3/4 オス							
	安全弁逃し口	ホースニップル							
安全 装置	過熱防止装置	缶体温水温度 110℃							
	漏電保護付 電源ブレーカー	60A／30mA							75A／ 30mA
	水不足防止装置	水電極							
	安全弁 （機器保護用）	作動圧力 2.5Bar（0.25MPa）							
セーブ運転機能		設定温度に対して、1～25℃の低減が可能							
無電圧接点出力		あり（1 接点、12A/250VAC）							
付属品		取付けビス、ブラケット、自動エア抜き弁、プレートカバー							

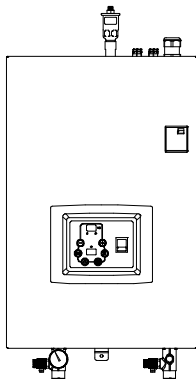
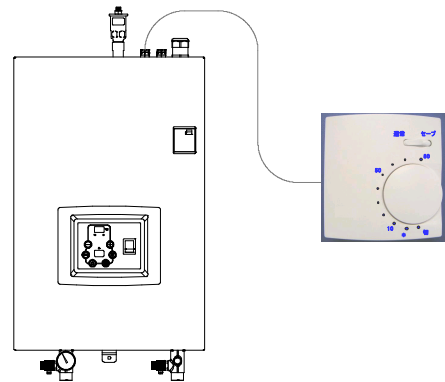
使用前の確認

■温水回路バルブ
温水回路のバルブが開いていることを確認してください。

■ボイラー周辺の確認
ボイラーの上や周囲に引火物や可燃物を置かないで下さい。火災や故障の恐れがあります。

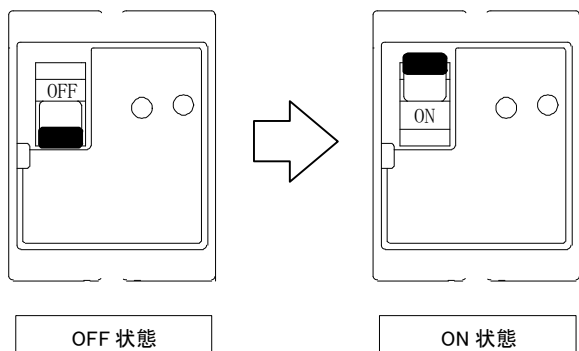
■ブレーカーの確認
配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーが「ON」になっていることを確認してください。

■水漏れの確認
温水配管接続部分から、万が一水漏れが発見された場合には、ボイラーの電源を「OFF」にし、温水回路のバルブを閉め、必ず販売店又は工事店にご連絡ください。

■ボイラーにリモコンが接続されていない場合、
8ページ【操作パネル】からの説明を参照してください。

■ボイラーにリモコンが接続されている場合、
13ページ【リモコン（オプション）がある場合】からの説明を参照してください。

操作パネル

給水ランプ
ボイラーにエアが溜まっていたり、システム水が不足していると、ランプが点滅します。
温水温度 表示部
通常時は、現在の温水温度が表示されます。
［－］ボタン
温水温度の設定を下げます。
設定中は温水温度表示部が点滅し、操作を何もしないと約５秒後に現在の温水温度表示に戻ります。
［＋］ボタン
温水温度の設定を上げます。
設定中は温水温度表示部が点滅し、操作を何もしないと約５秒後に現在の温水温度表示に戻ります。
℃
給水
低
高
運転中
通常運転
応急運転
運転中ランプ
ヒーターに通電されている時は、緑のランプが点灯します。
セーブ温度
設定
通常/セーブ運転切替
運転/待機
決定
セーブ温度 設定ボタン
セーブ運転中に、通常運転時よりもセーブしたい温度を＋または－ボタンにて設定します。
設定中は下段表示が点滅し、操作を何もしないと約５秒後に設定状態が終了します。
運転スイッチ
運転スイッチの状態に応じてボイラーの運転が開始します。
・ニュートラル：ポンプのみ運転
・通常運転：「通常運転」が開始
・応急運転：「応急運転」が開始
セーブする温度（下段に表示）
通常/セーブ運転切替ボタン
ボタンを押すと、予め設定された温度で運転します。
（下段に「EC」と表示されます）
運転/待機ボタン
「待機」は、スタンバイ状態を意味し、運転するときは、このボタンをもう一度押します。
（現在の温水温度が表示されます）
確認/決定ボタン
・ヒーターが何本通電されているかを確認するボタンです。１ 回押すと下段表示が点滅し、約５秒後に消灯します。
・パラメータを設定する際に最終決定を行うボタンです。
給水
運転中
「. .」表示で待機状態
「待機」中は、ヒーター通電はすぐに停止、循環ポンプは約２分後に停止します。
ヒーター通電本数。
※型式により、最大本数は異なります。

操作方法（運転開始、通常運転）

■漏電保護付電源ブレーカーの入切

本体正面右上の漏電保護付電源ブレーカーを「ON」の位置にします。

漏電保護付電源ブレーカーを「ON」の位置にすると、その時の運転スイッチの状態に応じてボイラーの運転が開始します。

運転スイッチの状態

・ニュートラル：ポンプのみ運転します。

・通常運転：通常運転が開始します。（9ページ参照）

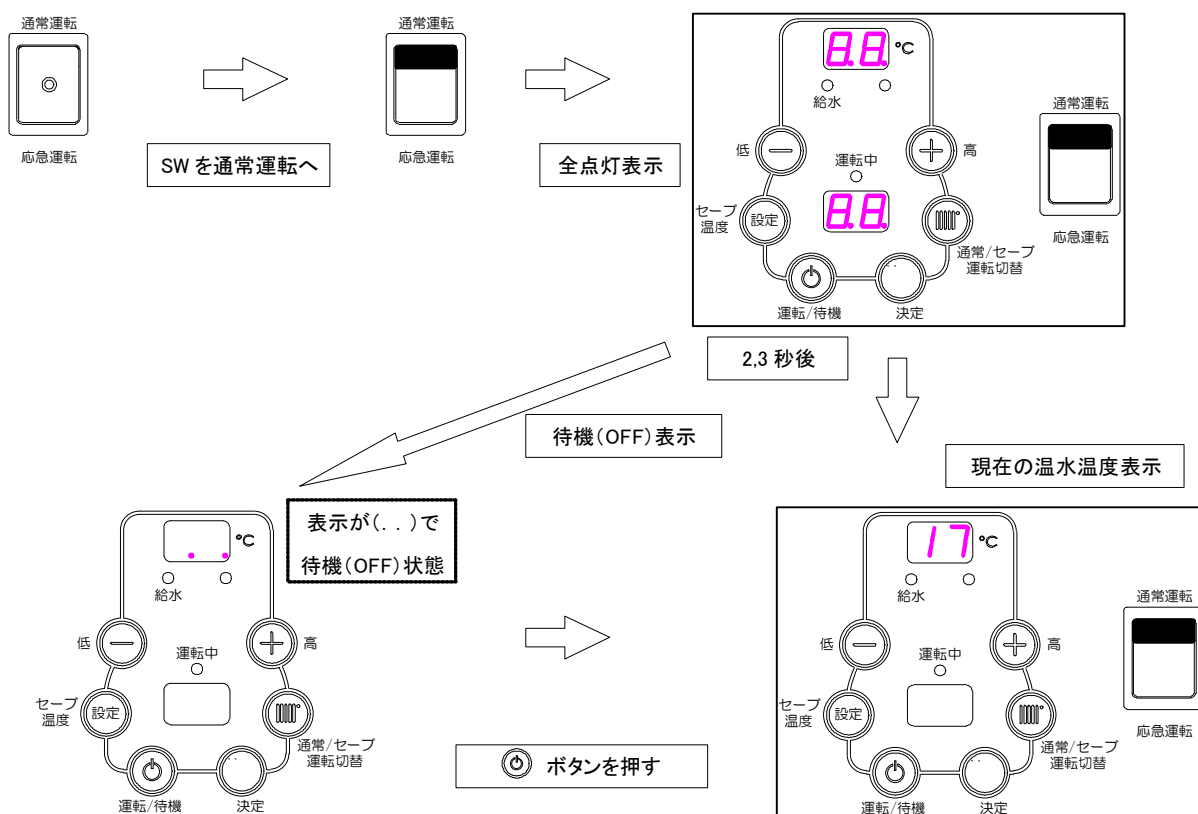
・応急運転：応急運転が開始します。（12ページ参照）

■操作パネルの電源入切

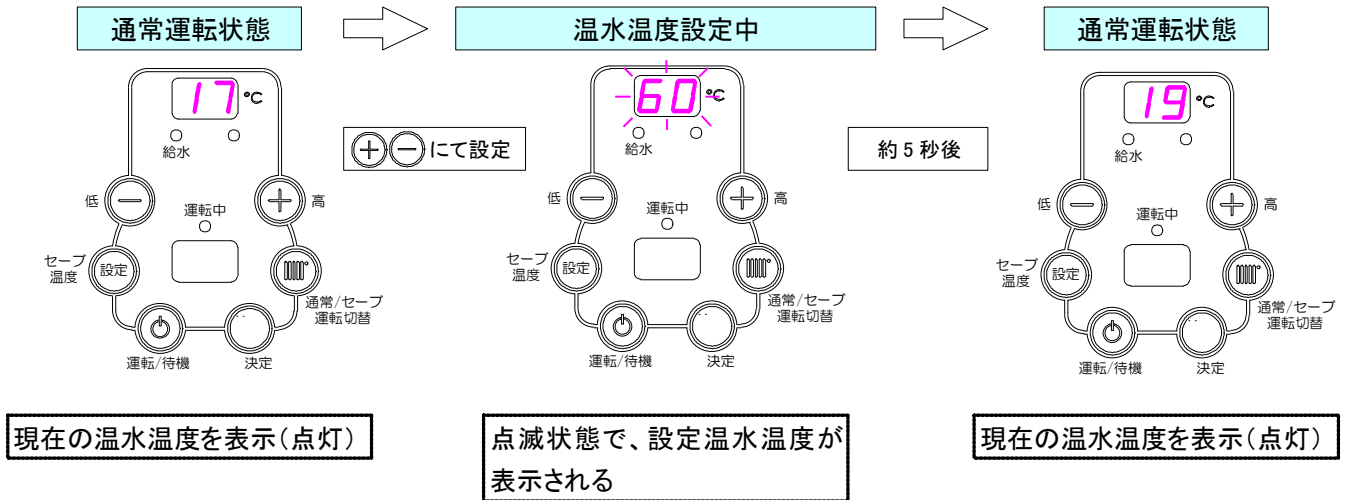
漏電保護付電源ブレーカーを「ON」にした後、運転スイッチを「通常運転」にします。

LED が全点灯した後、現在の温水温度が表示されます。

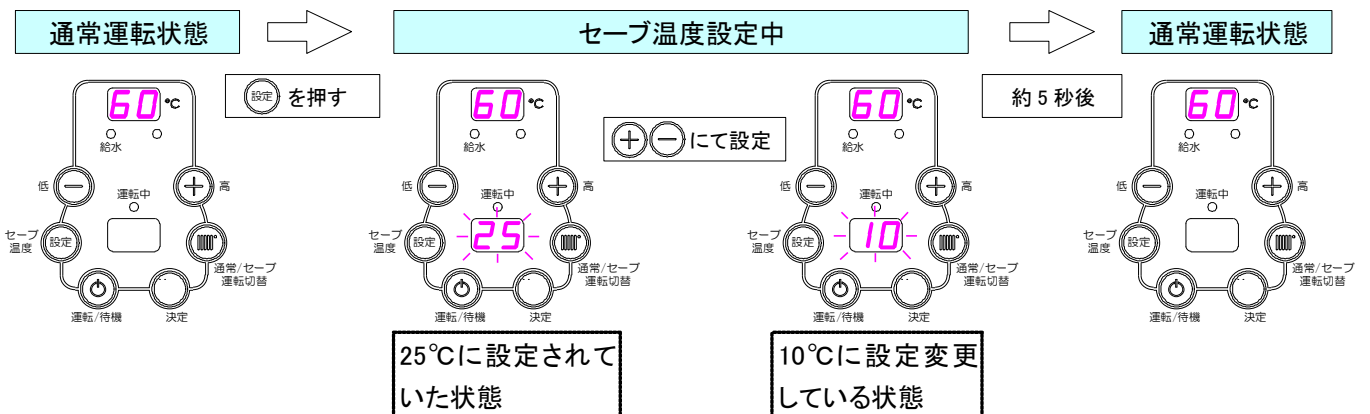
表示が（　.　.）となっていた場合には、運転/待機ボタン を押します。

（表示が（　.　.）とならずに、温水温度表示される場合には、この限りではありません）

操作方法（温水温度設定、セーブ低減）

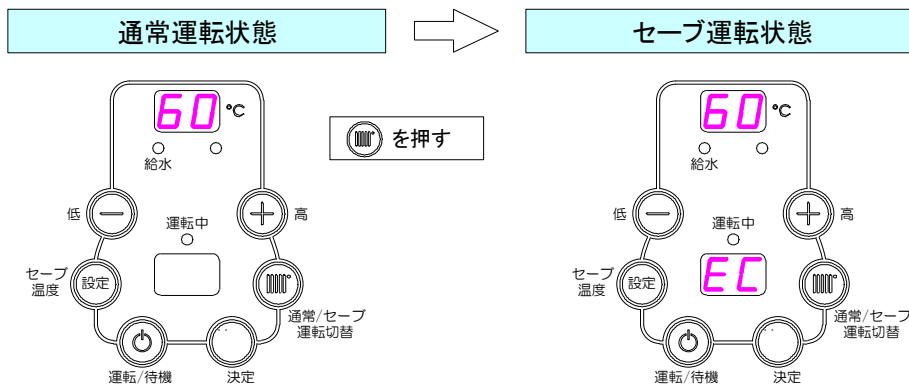
■温水温度設定

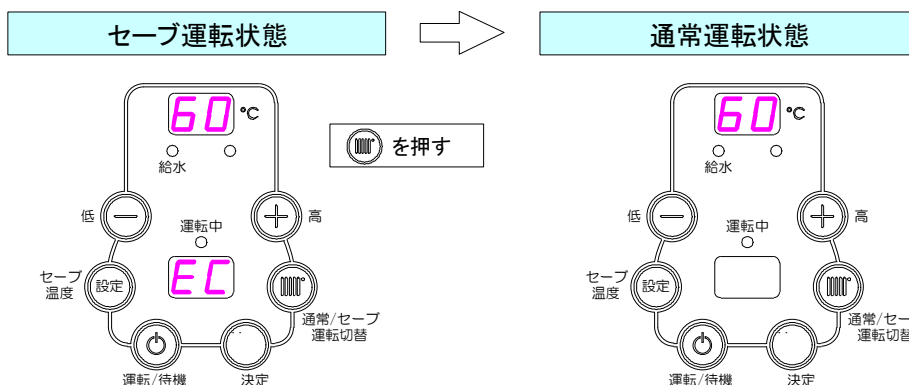
[＋]ボタンまたは[−]ボタンを押し、設定したい温水温度を決定します。
現在の温水温度と設定温度は、共に上段に表示されます。
ボタンを押すと点滅状態となり、現在設定されている温度が点滅します。[＋]ボタンまたは[−]ボタンで決定後、そのまま約５秒経過すると、現在の温水温度表示に戻ります。

■セーブ運転時の低減温度設定

※）セーブ運転の操作説明は、１１ページ「操作方法（通常運転⇔セーブ運転切換）」を参照してください。

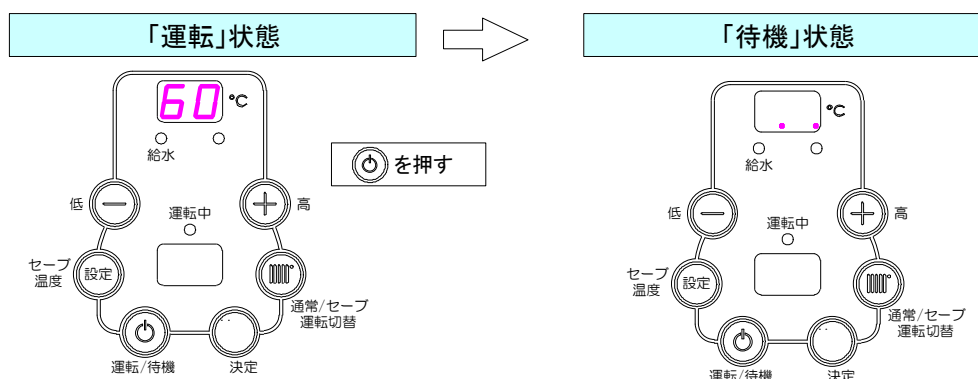
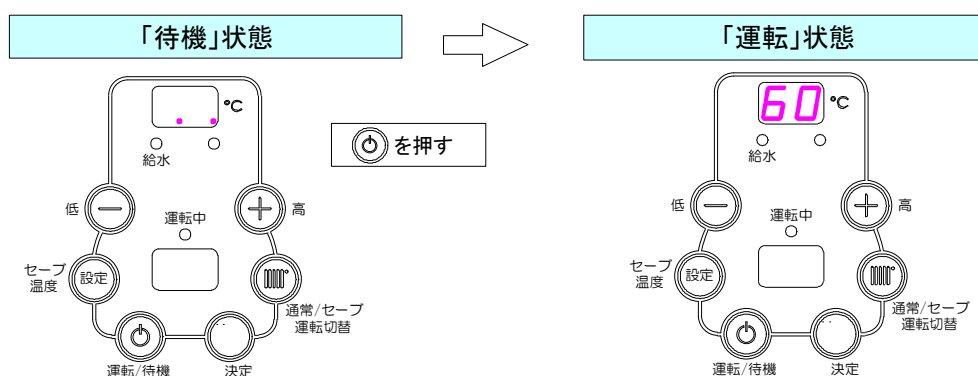
（機能概要）通常運転で設定した温水温度に対して、低減させた温度で運転させます。
（設定例）　通常運転での設定温度が60℃、<u>低減させる温度を10℃</u>とする場合
①[設定]ボタンを１回押します。下段に現在設定されている低減温度が点滅します。
②[＋]または[−]ボタンで、設定したい低減温度を設定します。
③そのまま約５秒経過後、自動的に下段の点滅が消え、設定が終了します。

操作方法（通常運転⇔セーブ運転切替）

■通常運転からセーブ運転への切替え

[通常/セーブ運転切替]ボタンを１回押します。下段表示に「EC」マークが点灯すると、セーブ運転に切り替わります。
低減温度については、１０ページ「セーブ運転時の低減温度設定」を参照してください。

■セーブ運転から通常運転への切替え

[通常/セーブ運転切替]ボタンを１回押します。下段表示の「EC」マークが消灯すると、通常運転に切り替わります。

操作方法（運転⇔待機（OFF））

※「待機」状態にすると、ヒーター通電はすぐに停止し、循環ポンプは約２分後に停止します。
（ボイラーの 200V 電源は供給されております。）

■「運転」状態から「待機（OFF）」状態への切替え
[運転/待機]ボタンを１回押します。上段の「温度」表示が「. .」表示となります。

■「待機（OFF）」状態から「運転」状態への切替え
[運転/待機]ボタンを１回押します。上段の「. .」表示が「温度」表示となります。

操作方法（凍結防止運転）

[ー]ボタンにて、温水温度設定を 10℃より低く設定すると、上段の温水温度表示は「--」表示となり、凍結防止運転状態となります。温水温度に応じて運転状態を自動調整します。

5℃～　　・・・循環ポンプとヒーターは停止します。（循環ポンプは約２分後に停止します）
0℃～5℃・・・循環ポンプのみが動作します。
～0℃・・・循環ポンプは動作し、ヒーターは１本（1.3kW）通電されます。

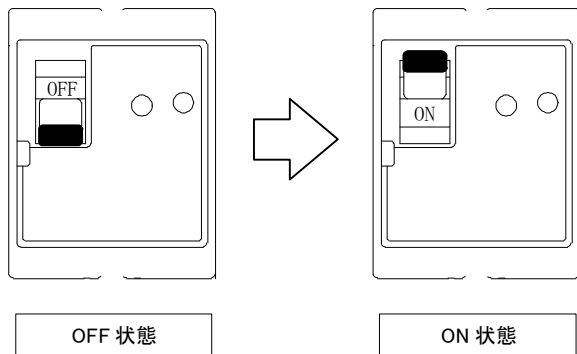
操作方法（応急運転）

この運転方式は、メンテナンス時または内部の回路基板が故障したときに応急運転を行う方式です。お客様が通常この運転方式で運用することはございません。

※）給水ランプが点滅しているときは、絶対に応急運転にしないでください。

リモコン（オプション）がある場合

リモコンが接続された場合、リモコンで設定された情報がボイラー本体へ送られ、運転を行います。
ボイラー本体での温度設定操作、セーブ運転切替はできなくなることに注意してください。

■漏電保護付電源ブレーカーの入切

本体正面右上の漏電保護付電源ブレーカーを「ON」の位置にします。

OFF 状態　　ON 状態

漏電保護付電源ブレーカーを「ON」の位置にすると、その時の運転スイッチの状態に応じてボイラーの運転が開始します。

運転スイッチの状態
・ニュートラル：ポンプのみ運転します。
・通常運転：通常運転が開始します。（１３ページ参照）
・応急運転：応急運転が開始します。（１２ページ参照）

■操作パネル上での確認

漏電保護付電源ブレーカーを「ON」した後、運転スイッチを「通常運転」にします。
LED が全点灯した後、現在の温水温度が表示されます。
表示が（．　．）となっていた場合には、リモコンのダイヤルが「切」の位置になっています。
適当な温度位置にダイヤルを設定すると、現在の温水温度が表示されます。

通常運転　応急運転

SW を通常運転へ

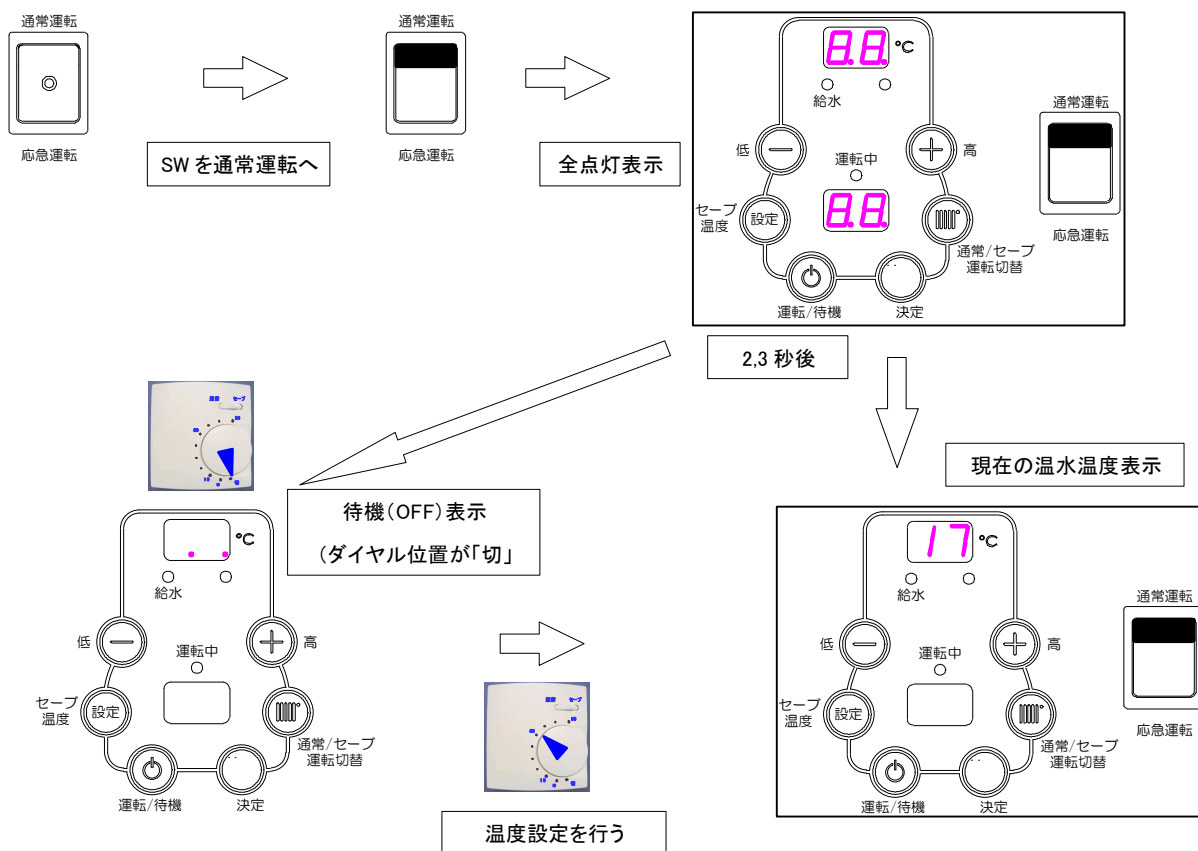
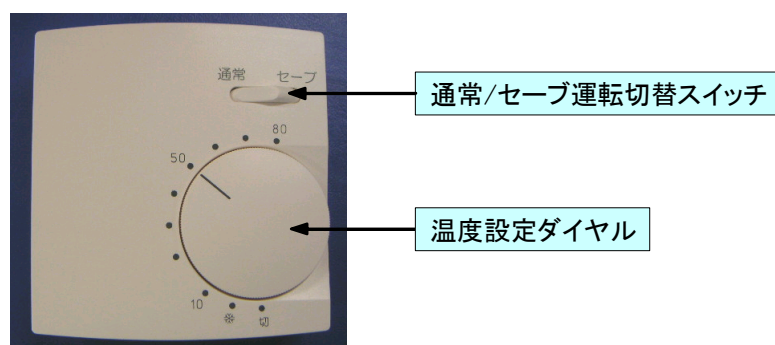
全点灯表示

2,3 秒後

現在の温水温度表示

待機(OFF)表示
(ダイヤル位置が「切」)

温度設定を行う

給水　低　高　運転中　セーブ温度　設定　通常/セーブ運転切替　運転/待機　決定

リモコン操作方法

■通常／セーブ運転切替スイッチ

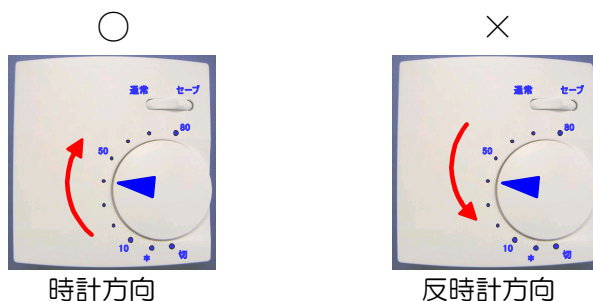
スイッチ位置	内容	ボイラー表示（上段）	ボイラー表示（下段）
通常	温度設定ダイヤルで設定した温水温度で運転します。	現在の温水温度	なし
セーブ	温度設定ダイヤルで設定した温水温度に対して、一定の温度だけ低減させて運転します。 低減する温度の設定方法は、１０ページ「セーブ運転時の低減温度設定」を参照してください。	現在の温水温度	EC

注意）リモコンが接続されている場合、ボイラー本体での操作は、セーブ運転時の低減温度設定のみ行うことができます。操作パネル上での運転/待機の切替や温度設定は、行うことができません。

■温度設定ダイヤル

ダイヤル位置	内容	ボイラー表示（上段）	ボイラー表示（下段）
切 （運転待機）	ヒーター通電はすぐに停止し、循環ポンプは約２分後に停止します。	. .	なし
＊ （凍結防止）	温水温度に応じて循環ポンプとヒーターの運転状態を自動調整します。運転状態は１２ページ「操作方法（凍結防止運転）」を参照してください。	- -	なし
10～80	合わせた位置の温水温度で運転します。	現在の温水温度	なし

※．ダイヤルにて温度設定をする際には、必ず時計方向に回してダイヤル位置を設定してください。
（反時計方向に回してダイヤル位置を設定すると正しい温度設定が出来ない場合があります。）

○

時計方向

×

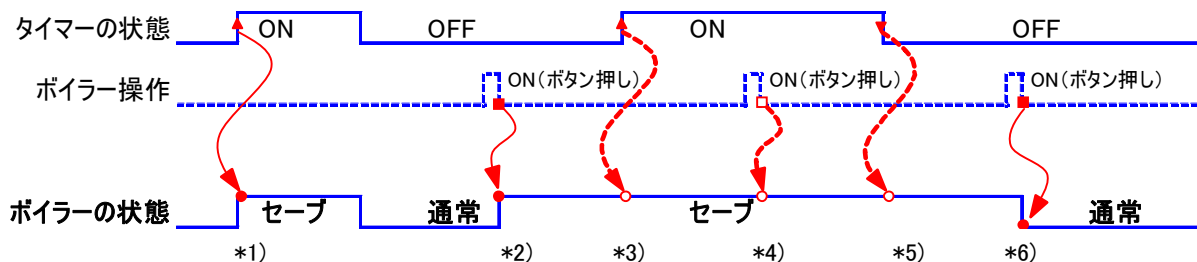
反時計方向

リモコンのダイヤルは目安の設定温度ですので、実際の室内温度環境に合わせてダイヤルを調整してください。

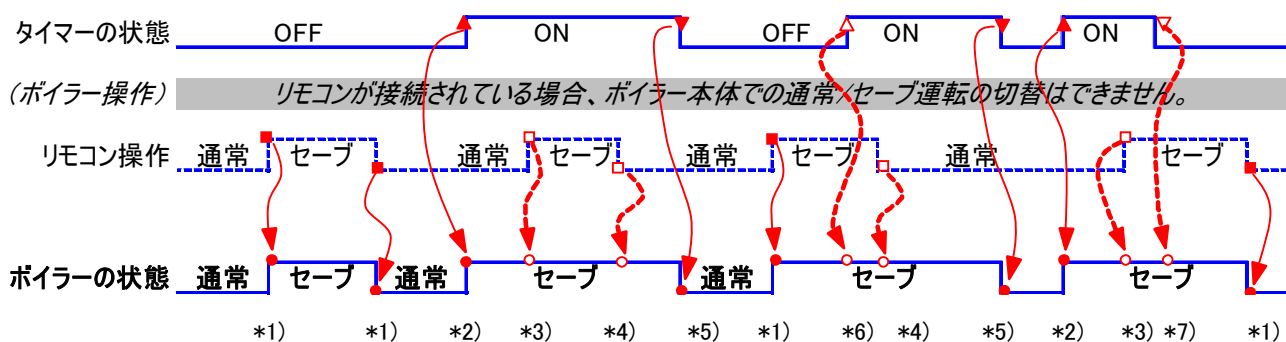
タイマー（オプション）がある場合

タイマーが接続されている場合、タイマーON/OFF によって通常運転とセーブ運転を自動的に切替えることができます。タイマーにて通常とセーブを切替える場合は、ボイラーの状態を「通常」にしておくことを推奨します。

■リモコンが接続されていない場合

タイマーの状態と、ボイラー本体の操作（ボタンによる通常運転/セーブ運転の切替）により、ボイラーの運転状態は、以下のようになります。

*1）通常運転中にタイマーが ON になると、ボイラーはセーブ運転状態になります。
*2）タイマーが OFF 状態のとき、ボイラー（ボタン）操作を行うと、ボイラーの運転状態が切り替わります（ボイラー操作が優先されます）。
*3）セーブ運転中にタイマーが ON になっても、ボイラーはセーブ運転状態を保ちます。
*4）タイマーON によるセーブ運転状態で、ボイラー（ボタン）操作にてセーブ運転から通常運転状態にしようとしても、タイマーON によるセーブ運転が優先されます。
*5）タイマーが OFF になっても、そのタイマーが ON になる前にボイラー（ボタン）操作によってセーブ運転状態にしていた場合は、セーブ運転状態が保たれます。
*6）上記*5 の状態は、ボイラー（ボタン）操作によって通常運転に切り替わります。

■リモコンが接続されている場合

タイマーの状態と、リモコンによる操作（切替スイッチによる通常運転/セーブ運転の切替）を行った状態で、ボイラーの運転状態は、以下のようになります。

*1）タイマーが OFF 状態のとき、リモコン（スイッチ）操作を行うと、ボイラーの運転状態が切り替わります（リモコン操作が優先されます）。
*2）通常運転中にタイマーが ON になると、ボイラーはセーブ運転状態になります。
*3）タイマーが ON 状態で、リモコン操作を通常からセーブに切替えても、セーブ運転状態のままとなります。
*4）タイマーが ON 状態で、リモコン操作をセーブから通常に切替えても、セーブ運転状態のままとなります。
*5）タイマーが ON から OFF に切り替わるとき、リモコンの状態が通常であれば、ボイラーは通常運転に切り替わります。
*6）セーブ運転中にタイマーが ON になっても、ボイラーはセーブ運転状態を保ちます。
*7）セーブ運転中にタイマーが OFF になった場合、リモコンの状態がセーブであれば、ボイラーはセーブ運転状態となります。

長期間使用しない場合

ボイラー本体の漏電保護付電源ブレーカーを「OFF」にしてください。
シーズンオフには、配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーも「OFF」にしてください。

点検／お手入れ

⚠警告

本体に水をかけない
漏電、感電、火災のおそれがあります。

塗料、シンナー等の物を近づけない
火災のおそれがあります。

⚠注意

本体表面の清掃は、本体の漏電保護付電源ブレーカー及び配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーを「OFF」にし、本体表面を冷ましてから行ってください。
感電、やけどのおそれがあります。

本体表面の清掃は、ベンジン・シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しない
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

運転中や運転直後は、本体や配管部の高温部には触れないこと
やけどのおそれがあります。

本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼すること
感電、ケガのおそれがあります。

■点検/お手入れ時の注意
必ず本体の漏電保護付電源ブレーカー及び配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーを「OFF」にしてください。

■点検項目/方法/処置について

点検項目	方法／処置
ボイラー及び配管から漏れがないか	漏れが発見されましたら、お買い求めになった販売店または工事店に点検依頼してください
圧力が０になっていないか	圧力が０になっていたら、お買い求めになった販売店または工事店に点検依頼してください
ボイラーの上に物を置いていないか、衣類などを掛けていないか	火災や漏電の危険がありますので、物を置かず、衣類などは絶対に掛けないでください
本体の汚れ、周辺のホコリがあるかどうか	本体の汚れは、中性洗剤を浸した布でふいてください 周辺のホコリは、掃除機で取り除いてください ガソリン、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください
本体の漏電保護付電源ブレーカーの動作	本体の漏電保護付電源ブレーカーのテストボタンを押し、動作確認を行ってください。「OFF」にならない場合は故障です。この場合、お買い求めになった販売店または工事店に修理依頼してください

■定期点検
末永くお使いいただくために、定期的に機器の点検をお勧めします（有料）。
お買い求めになった販売店または工事店にご依頼ください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
電気が入らない	配電盤の 200V 電源ブレーカーが「OFF」になっている	配電盤の 200V 電源ブレーカーを「ON」にしてください
	本体の漏電保護付電源ブレーカーが「OFF」になっている	本体の漏電保護付電源ブレーカーを「ON」にしてください
	融雪電力契約の遮断時間である	遮断時間が終了した後、自動的に運転開始します。
運転しない 暖房が効かない （寒い）	運転スイッチがニュートラル状態になっている	運転スイッチを「通常運転」にしてください
	設定温水温度が低い	[＋]ボタン・[ー]ボタンにて設定温水温度を調整してください
	給水ランプが点滅している （システム水が足りない）	販売店もしくは工事店に依頼してください
	過熱防止装置が作動している	販売店もしくは工事店に依頼してください
	システム水が漏れている	販売店もしくは工事店に依頼してください
	暖房システムにエアが混入している	販売店もしくは工事店に依頼してください
本体の漏電保護付電源ブレーカーが頻繁に落ちる	漏電又はショートしている	販売店もしくは工事店に連絡してください
	過熱防止装置が作動している	販売店もしくは工事店に依頼してください
循環ポンプは運転するが、温水は循環しない	循環経路のバルブが閉じている	バルブを開けてください
	エアが溜まっている	エア抜きを行ってください
	システム水が入っていない	システム水を注入してください
沸き立つような音がする	システム水が加熱される際にヒーターモジュール近傍が局部的に沸騰状態となる	システム水の濃度（不凍液濃度）が低い場合に発生することがありますが異常ではありません。
表示が -- である	ボイラーが凍結防止状態で運転中である。	[＋]ボタンを押し、適当な温度設定にしてください。
	リモコンが接続されている場合は、ダイヤルが「＊」の位置にある。	リモコンが接続されている場合は、[＊]の位置から適当な温度設定の位置にしてください。
表示が . . である	ボイラーが待機状態である。	[運転/待機]ボタンを押し、運転状態にしてください。
	リモコンが接続されている場合は、ダイヤルが「切」の位置にある。	リモコンが接続されている場合は、[切]の位置から適当な温度設定の位置にしてください。
表示が E 01 である	センサーの異常である	販売店もしくは工事店に連絡してください
表示が E 02 である	リモコンの接続エラー、またはボイラーの設定が間違っている。	販売店もしくは工事店に連絡してください

部品の交換について

■消耗しやすい部品

以下の部品は、長期間のご使用により、消耗劣化しやすい部品となります。
異常かなと思われましたら、お買い求めになった販売店または工事店にお問い合わせください。部品の交換は個人では行わないでください。

	部品
使用時間で交換が必要となる可能性がある部品	パッキン、リレー、水電極、不凍液、膨張タンクなど
環境によって劣化の可能性がある部品	ヒーター、循環ポンプ、自動エア抜き弁、制御基板など

保証／修理に関して

保証書

この取扱説明書には保証書が添付されていますので、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から本体１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後７年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（17ページ）に従って調べていただき、なお異常があるときは、本体の漏電保護付電源ブレーカー及び配電盤の２００Ｖ電源ブレーカーを「OFF」にし、販売店もしくは工事店にご連絡ください。

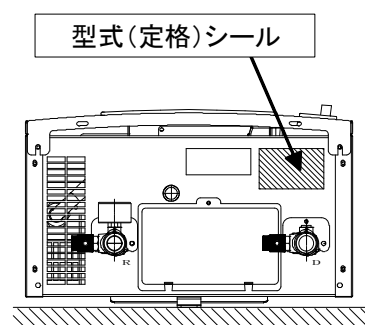
■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

品名	電気ボイラー
型式	AR6241- 03/04/05/06/07/08/09/10
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
お客様	お名前、ご住所、電話番号
修理希望日	年　　月　　日

保 証 書

品　　　　　名	電気ボイラー
型　　　　　番	AR6241-03　AR6241-04　AR6241-05　AR6241-06 AR6241-07　AR6241-08　AR6241-09　AR6241-10
お　　客　　様	お名前 様 ご住所　（〒　　－　　　） 電話番号　（　　　　）　　　－
お買い上げ日	年　　　月　　　日
保　証　期　間	**お買い上げ日から本体１年間**
販　　売　　店	販売店名 住所 電話番号　（　　　　）　　　－

本書は、お買い上げ日から上記期間中故障が発生した場合には、下記＜無料修理規定＞に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。

詳細は、下記＜無料修理規定＞をご参照ください。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
　（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、販売元にご連絡ください。
　（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店又は販売元にご相談ください。
3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、販売元へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
　（イ）　使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　（ロ）　工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取扱工事等が原因で生ずる故障及び損傷
　（ハ）　お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　（ニ）　火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
　（ホ）　車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　（ヘ）　本書のご提示がない場合、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　（ト）　離島又は離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の、出張に要する実費
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
7．販売店の連絡先は、上記保証書内をご参照ください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は販売元にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、お買い上げの販売店又は販売元にお問い合わせください。

※補修性能部品の保有期間は、製造打ち切り後７年です。

※This warranty is valid only in Japan.

輸入元　株式会社ディンプレックス・ジャパン
〒007-0846 北海道札幌市東区北46条東17丁目2番23号　TEL:011-783-7989　FAX:011-783-7747

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店または下記窓口へ
お申し付けください。

取扱元：**パナソニック ホームエンジニアリング株式会社**

本社・アライアンス営業部
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見２丁目１番３号 TEL：06-6942-0953 FAX：06-6942-1040

[北日本支店]
北海道営業部
〒060-0809 北海道札幌市北区北９条西２丁目１番地パナソニック札幌北９条ビル TEL:011-736-2241 FAX:011-736-2244

輸入元：株式会社ディンプレックス・ジャパン

本社・技術相談窓口
〒007-0846 北海道札幌市東区北 46 条東 17 丁目２番 23 号 TEL：011-783-7989 FAX：011-783-7747
北海道営業所
〒007-0846 北海道札幌市東区北 46 条東 17 丁目２番 23 号 TEL：011-783-7106 FAX：011-783-7108

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック ホームエンジニアリング（株）および(株)ディンプレックス･ジャパンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名･住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

①上記２社は、お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を上記２社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、上記２社以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。
②上記２社はお客様の個人情報を、適切に管理します。
③お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

MA090005E 12/06/25